

平成22年度
商工会事業評価システム
年次報告書

商工会事業評価システム

～成果主義を背景とした「目標対成果」の自己検証～

“即ち、限られた財源の中でいかに事業を効率化し、
実行性のある事業を展開して行くか”

理事会 報告日 平成22年 4月28日（予定）

総（代）会報告日 平成22年 5月25日（予定）

入力年月日	平成22年4月23日
商工会コード	3081
商工会名	桐生市黒保根 商工会
入力担当者職氏名	経営指導員 窪塚道康
分析シートの枚数	(5) 枚

群馬県商工会連合会

1. 評価対象者の概要

(1) 評価対象団体名

(桐生市黒保根)商工会

所在地(桐生市黒保根町水沼182-3)

(2) 団体の概要

①会員数 (74) 名 ②小規模事業者数 (89) 名

③職員数 (3) 名 平成22年4月1日 現在

(3) 構成役員

①会長 (1) 名 ②副会長 (2) 名 ③理事 (14) 名

④監事 (2) 名

(4) 評価事業期間

平成21年4月1日から平成22年3月31日

(5) 評価算定者

職名 (経営指導員)

氏名 (窪塚道康)

<記入上の注意>

以下、2. 総括的概要 3. 外的及び内的環境の変化等 4. 重点課題項目の注目すべき実績
(要因を含む)を記入するにあたってのご注意

(1) この年次報告書は、商工会事業評価シートの【定性的評価】をもう少し解
かり易く、【定量的評価】の実績数値を示しながら記載することが求めら
れています。

(2) 商工会の1年間の総括的概要、環境の変化(大型店の出店・地域プロジェ
クト・役員の改選・職員の人事交流等)並びに年間を通じ特に重点を置いた
事業について、【当初の目標や計画に対しその結果】を比較考量しつつコ
メント記述してください。

2. 総括的概要

最近の経済状況は、一昨年の世界同時不況に端を発した金融危機による景気の後退、閉塞感が引き続き重くのしかかり、国内経済や雇用情勢が悪化するなど、中小企業者の経済環境は厳しい状況を迎えている。

また、地域小規模事業者の経営環境は、今般の金融危機の影響による売上の減少に加え収益圧迫、資金繰りの悪化等、これまでの、少子高齢化、過疎化、産業の空洞化といった構造変化に伴う問題と相まって益々厳しくなっている。

当地域には、旧桐生市にある自動車関連産業の下請け企業が数社あり、親会社の生産の縮小による受注の落ち込みは目を覆うばかりであったが、そのうちの1社が廃業を余儀なくされ、20名余りの雇用が失われた。

また、行政の財政悪化による公共事業の削減等により、中小建設業者も多大の影響を受けていたが、そのうち土木工事業1社が廃業となった。

この2社は、ともに法人企業であり、管内では比較的、大手企業と見られていただけに、周囲の事業者に与える影響は大きいものがあった。

他方、当地域においては、少子高齢化の進展が著しく、事業主の高齢化が顕著になっているとともに、人口の減少が続いており、地元の小規模商業者においてはとりわけ厳しい状況にある。

こうした状況に鑑み、管内の消費需要を喚起し、地域経済並びに中小商業の活性化を図るため、桐生商工会議所並びに桐生市新里商工会と連携し、プレミアム付商品券を発売した。

また、しばらく閉鎖していた水沼駅温泉センターが新たな経営者のもとに再開し、管内経済の活性化に寄与することが期待されている。

3. 外的及び内的環境の変化等

一昨年に発生した金融危機による世界的な景気の悪化から、一部には持ち直しの動きが見られるとの観測もあるが、当地域においては全く回復の兆しが見えず、消費が停滞し、雇用情勢が厳しさを増すなど景気はさらに悪化している。

また、金融や雇用の先行き不安が増幅し、経済活動の萎縮がさらなる萎縮を招く悪循環に陥っている。特に、若年者の流出による人口減少と少子高齢化の進行は、当地域の基幹産業である農林業を衰退させ、地域の活力を低下させ、地域格差をさらに拡大させている。

こうした状況の中、商工会の経営支援のあり方としても、小規模事業者と同じ目線に立ち、個々の事業者のニーズに合わせたきめ細かな支援を行っていくことが益々重要になっている。

事業主の高齢化に伴う廃業の増加により、各種共済事業に係る加入口数は減少傾向にあり商工会財政逼迫の一因となっている。また、商工会員の減少に歯止めがかからず、商工会組織の再構築の必要性に迫られている。

商工会の財政状況については、県補助金が削減傾向にあり、加えて手数料収入が大幅に減少したため、商工会財政は非常に逼迫している。商工会の自己財源確保のため、会員の増強や各種共済事業を積極的に推進し、財政基盤の強化へ取り組んでいくことが急務であるが、現実には非常に厳しい状況にある。

こうした中、県連合会による商工会大改革アクションプランが示され、桐生みどり地域の商工会においても、合併に向けた協議の必要性が生じてくると思われる。今後とも各商工会と連携を図りながら商工会の組織運営につき検討していきたいと考えている。

4. 重点課題項目の注意すべき実績(要因を含む)

取組んだ重点課題項目の実績(負の結果:達成に至らなかった場合も含む)について「各実施事業毎の評価分析シート(様式-1)」を参考にして総括してください。

(1) 目標・計画

(当初の方針(目標)や計画など)

- (1) 経営改善普及事業の推進
巡回指導の強化
エキスパート事業の活用
- (2) 金融対策事業の強化
利子補給事業の実施
- (3) 情報化対策の推進
電子申告納税システムの普及推進を実施する。
電子申請による入札参加資格申請の支援を実施する。
- (4) 桐生みどりブロックの各商工会並びに桐生商工会議所との連携
- (5) 商工会会員増強並びに財政基盤の拡充強化

(2) 事業の成果・結果

(年次の報告事項)

- (1) 経営改善普及事業
巡回窓口指導件数はほぼ目標値に近い実績となった。また、講習会の出席者数についても目標とした数値を達成することができた。
- (2) 金融対策事業
中小企業金融円滑化法の周知を図るとともに、利子補給事業を実施し、厳しい資金繰りを余儀なくされる小規模事業者の経営支援を行った。
- (3) 情報化対策事業の推進
電子申告納税システムの普及推進対策を実施するとともに、電子申請による入札参加資格申請の支援を実施した。
- (4) 他団体との連携強化
桐生商工会議所並びに桐生市新里商工会とともに桐生市内で使用できるプレミアム付商品券を発売した。
- (5) 会員増強・財政基盤の強化
会員増強並びに各種共済制度の加入促進を実施した。

(3) 要因分析

(成果・結果に至った原因や要因)

- (1) 会員ニーズの多様化、専門化等により、県連のエキスパート事業を活用した相談指導が効果的であった。
- (2) 対象事業者から評価の高い利子補給事業であるが、小規模事業者の経営支援に直結するため、今後も継続的に金融面からの支援を実施したい。
- (3) 電子申告納税システムにつき、その概要につき理解を深めることができた。また派遣税理士の代理送信に実績が7件、個人での電子証明書取得による送信実績が3件、合計10件の送信実績であった。また、電子申請による入札参加資格申請を実施し、入札参加事業者として登録することができた。
- (4) 桐生みどりブロックの各商工会と連携強化を図るとともに、桐生商工会議所と連携を図るにより、広域的な事業運営が可能となった。
- (5) 既存事業者の廃業や事業主の高齢化により、新規会員の増加を図ることは困難な状況にある。しかし、継続的な商工会のPRにより組織強化を図りたい。

- (1)重点課題項目について作成してください
 (2)実施事業が複数ある場合は、複数枚作成してください

様式 ー 1

商工会事業評価システム 評価ツール

平成22年度

入力年月日	平成22年4月23日
商工会コード	3081
商工会名	桐生市黒保根
入力担当者職氏名	経営指導員 窪塚道康
分析シートの枚数	(5)枚中の(1)枚

< 評 価 分 析 シ ー ト >

実施事業名	4. 中小商業活性化関連事業	プレミアム付商品券発行事業
-------	----------------	---------------

	アウトカム（何がもたらされたか）	アウトプット（何をしたか）
成果目標	(1) 桐生市内の登録事業所で共通に使用できるプレミアム付商品券を発行することにより、消費需要を喚起し、地域経済並びに中小商業の活性化を図る。	(1) 桐生商工会議所、桐生市新里商工会、桐生市黒保根商工会の3団体によりプレミアム付「きりゅう商品券」を発行し、管内の消費拡大を促し、景気浮揚の一助とする。
事業成果	(1) 第1弾 登録事業所 19店 売上総額 120万円 回収金額 114万円 回収率 95% (2) 第2弾 登録事業所 21店 売上総額 240万円 回収金額 140万円 回収率 58%	(1) 第1弾 発行総額 6千万円 プレミアム率 20% 購入限度 3万円 発売日 6月28日 (2) 第2弾 発行総額 9千万円 プレミアム率 20% 購入限度 2万円 発売日 10月31日
付随成果	黒保根地区の一般住民に対して商工会の存在をアピールすることができた。	

指標目標達成への貢献度	低 1 2 3 4 5 高
	貢献度リストボックス入力 5:非常に高い

事業実施の結果評価	右の「評価の区別」を用いて判定入力	判定	完了				
		<table border="1" style="font-size: small;"> <tr><th colspan="2">評価の区別</th></tr> <tr><td>1: 継続</td></tr> <tr><td>2: 見直し</td></tr> <tr><td>3: 廃止</td></tr> <tr><td>4: 完了</td></tr> </table>		評価の区別		1: 継続	2: 見直し
評価の区別							
1: 継続							
2: 見直し							
3: 廃止							
4: 完了							

入力担当者（評価者）のコメント欄	
(1) 継続・見直しの今後の展開及び方向性	(2) 廃止・完了の今後の展開及び方向性 緊急経済対策の一環として行政の補助を得て実施した事業であり、今後は、景気動向を見ながら事業の実施を検討したい。

今後の事業実施により期待される成果	
-------------------	--

- (1)重点課題項目について作成してください
 (2)実施事業が複数ある場合は、複数枚作成してください

様式 ー 1

商工会事業評価システム 評価ツール

平成22年度

入力年月日	平成22年4月23日
商工会コード	3081
商工会名	桐生市黒保根
入力担当者職氏名	経営指導員 窪塚道康
分析シートの枚数	(5)枚中の(2)枚

< 評 価 分 析 シ ー ト >

実施事業名	1. 経営指導関連事業	中小企業金融円滑化法の普及促進事業
-------	-------------	-------------------

	アウトカム（何がもたらされたか）	アウトプット（何をしたか）						
成果目標	(1) 中小企業金融円滑化法の普及促進活動を実施することにより、金融面からのサポートを実施する。 (2) 中小企業金融円滑化法の重要性を再認識し金融危機に端を発した経済恐慌に対応するため、厳しい資金繰りを余儀なくされる小規模事業者の経営支援を実施する。	(1) 小規模事業者等の経営改善を促進し、金融面から経営改善普及事業の実効性を確保するため、中小企業金融円滑化法の普及促進活動を実施する。 (2) 金融特別相談窓口を設置し、中小企業金融円滑化法の周知を図る。						
事業成果	(1) 中小企業金融円滑化法の周知を図ることができた。 (2) 地域小規模事業者の危機的状況を再認識するとともに、今後の金融支援のあり方につき、その重要性を再確認することができた。	(1) 中小企業金融円滑化法の普及パンフレットを配布し制度の再認識を図ることができた。 (2) 金融特別相談窓口を設置し、中小企業金融円滑化法の周知を図ることができた。						
付随成果	中小企業金融円滑化法の周知活動を実施することにより、小企業等経営改善貸付制度や商工貯蓄共済融資制度等の金融制度についても周知を図ることができた。							
指標目標達成への貢献度	低 1 2 3 4 5 高 <div style="background-color: #0056b3; color: white; padding: 2px; display: inline-block; margin: 5px;">貢献度リストボックス入力 3:普通</div>							
事業実施の結果評価	右の「評価の区別」を用いて判定入力 <div style="display: flex; justify-content: center; gap: 20px;"> <div style="background-color: #0056b3; color: white; padding: 5px;">判定</div> <div style="background-color: #0056b3; color: white; padding: 5px;">継続</div> </div>	<table border="1" style="font-size: small;"> <tr><th colspan="2">評価の区別</th></tr> <tr><td>1: 継続</td></tr> <tr><td>2: 見直し</td></tr> <tr><td>3: 廃止</td></tr> <tr><td>4: 完了</td></tr> </table>	評価の区別		1: 継続	2: 見直し	3: 廃止	4: 完了
評価の区別								
1: 継続								
2: 見直し								
3: 廃止								
4: 完了								
入力担当者（評価者）のコメント欄 (1) 継続・見直しの今後の展開及び方向性 国や県の経済対策に対応して、今後も継続的に制度の普及促進活動を実施することにより、小規模事業者に対する経営支援を金融面から補完する。								
(2) 廃止・完了の今後の展開及び方向性 制度の普及促進活動の実施により資金繰りに苦慮する小規模事業者に対し、金融支援を実施することができる。								
今後の事業実施により期待される成果	制度の普及促進活動の実施により資金繰りに苦慮する小規模事業者に対し、金融支援を実施することができる。							

- (1)重点課題項目について作成してください
 (2)実施事業が複数ある場合は、複数枚作成してください

様式 ー 1

商工会事業評価システム 評価ツール

平成22年度

入力年月日	平成22年4月23日
商工会コード	3081
商工会名	桐生市黒保根
入力担当者職氏名	経営指導員 窪塚道康
分析シートの枚数	(5)枚中の(3)枚

< 評 価 分 析 シ ー ト >

実施事業名	1. 経営指導関連事業	利子補給事業
-------	-------------	--------

	アウトカム（何がもたらされたか）	アウトプット（何をしたか）
成果目標	<p>(1) 小規模事業者の資金調達の円滑化を図るため、利子補給事業を実施することにより、金融面からのサポートを実施する。</p> <p>(2) 利子補給事業を実施することにより、金融危機に端を發した経済恐慌に対応するため、厳しい資金繰りを余儀なくされる小規模事業者の経営支援を実施する。</p>	<p>(1) 金融面から経営改善普及事業の実効性を確保するため、利子補給事業を実施する。</p> <p>(2) 商工貯蓄共済融資については1.5%、日本政策金融公庫融資については1.0%の利子補給を実施する。</p>
事業成果	<p>(1) 利子補給事業の実施により小規模事業者の資金繰りの改善に寄与することができた。</p> <p>(2) 地域小規模事業者の危機的状況を再認識するとともに、今後の金融支援のあり方につき、その重要性を再確認することができた。</p>	<p>(1) 桐生市の補助により次のとおり利子補給を実施した。</p> <p style="margin-left: 20px;">商工貯蓄共済融資 40件 1,377千円</p> <p style="margin-left: 20px;">日本政策金融公庫融資 15件 196千円</p>
付随成果	利子補給事業の申請事務の代行を実施することにより、小企業等経営改善貸付制度や商工貯蓄共済融資制度等の金融制度についても周知を図ることができた。	

指標目標達成への貢献度	低 1 2 3 4 5 高
	貢献度リストボックス入力 5:非常に高い

事業実施の結果評価	右の「評価の区別」を用いて判定入力	<table border="1"> <tr><td>評価の区別</td></tr> <tr><td>1: 継続</td></tr> <tr><td>2: 見直し</td></tr> <tr><td>3: 廃止</td></tr> <tr><td>4: 完了</td></tr> </table>	評価の区別	1: 継続	2: 見直し	3: 廃止	4: 完了
評価の区別							
1: 継続							
2: 見直し							
3: 廃止							
4: 完了							
	<table border="1" style="margin: auto;"> <tr> <td style="background-color: #0056b3; color: white; padding: 5px;">判定</td> <td style="background-color: #0056b3; color: white; padding: 5px;">継続</td> </tr> </table>	判定	継続				
判定	継続						

入力担当者（評価者）のコメント欄	
(1) 継続・見直しの今後の展開及び方向性 本事業に対する事業者の評価は大変高いものがあり、継続的に実施することが重要であると考えます。	(2) 廃止・完了の今後の展開及び方向性

今後の事業実施により期待される成果	本事業の実施により資金繰りに苦慮する小規模事業者に対し、効果的な金融支援を実施することができる。
-------------------	--

- (1)重点課題項目について作成してください
 (2)実施事業が複数ある場合は、複数枚作成してください

様式 ー 1

商工会事業評価システム 評価ツール

平成22年度

入力年月日	平成22年4月23日
商工会コード	3081
商工会名	桐生市黒保根
入力担当者職氏名	経営指導員 窪塚道康
分析シートの枚数	(5)枚中の(4)枚

< 評 価 分 析 シ ー ト >

実施事業名	8. 組織基盤強化関連事業	行政懇談会の開催
-------	---------------	----------

	アウトカム（何がもたらされたか）	アウトプット（何をしたか）
成果目標	(1) 黒保根地区の景気の現状につき説明し認識を共有する。 (2) 商工会の組織、財政、事業等につき説明し理解を深める。 (3) 商工会と行政との円滑な事業運営につき相互理解を図る。	(1) 商工会役員と桐生市長並びに桐生市の担当部課長等との懇談会を開催する。 (2) 市町村合併後の新桐生市の一体感を醸成する。 (3) 旧桐生市と旧黒保根村の格差是正を図るための意見交換を行う。 (4) 新桐生市における黒保根地区のあり方につき意見交換を行う。
事業成果	(1) 桐生市長より桐生市の施策の説明がなされ、事業実施に係る商工会の協力につき要請がなされた。 (2) 黒保根地区並びに商工会の現状につき説明し行政側の理解を得た。	(1) 行政懇談会を開催した。 商工会役員他 20名 桐生市側 7名 桐生市長 産業経済部長・産業振興課長 黒保根支所長・支所担当課長 産業振興課職員

付随成果	
------	--

指標目標達成への貢献度	低 1 2 3 4 5 高 <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> 貢献度リストボックス入力 5:非常に高い
-------------	---

事業実施の結果評価	右の「評価の区別」を用いて判定入力 <div style="display: flex; justify-content: center; gap: 20px;"> 判定 継続 </div>	評価の区別 1: 継続 2: 見直し 3: 廃止 4: 完了
-----------	--	--

入力担当者（評価者）のコメント欄 (1) 継続・見直しの今後の展開及び方向性 行政懇談会は定期的、継続的に実施することが重要であると考え。今後も地域の実状並びに商工会の存在意義につき理解を深めることが必要。		(2) 廃止・完了の今後の展開及び方向性
---	--	----------------------

今後の事業実施により期待される成果	地元行政と緊密な連携を図るため、今後も継続的に懇談会を実施したいと考える。また、商工業施策だけでなく、黒保根地区の地域振興施策策定の一助になる。
-------------------	--

- (1)重点課題項目について作成してください
 (2)実施事業が複数ある場合は、複数枚作成してください

様式 ー 1

商工会事業評価システム 評価ツール

平成22年度

入力年月日	平成22年4月23日
商工会コード	3081
商工会名	桐生市黒保根
入力担当者職氏名	経営指導員 窪塚道康
分析シートの枚数	(5)枚中の(5)枚

< 評 価 分 析 シ ー ト >

実施事業名	1. 経営指導関連事業	事業継続計画策定事業
-------	-------------	------------

	アウトカム（何がもたらされたか）	アウトプット（何をしたか）
成果目標	(1) 新型インフルエンザの大流行に対応した事業継続計画を策定することにより、企業経営の継続を図ることを目標とする。	(1) 新型インフルエンザの大流行に対応した事業継続計画の策定につき情報提供し、発生時の事業運営指針を策定することを目標とする。
事業成果	(1) 事業継続計画の概要については理解を得ることができたが、事業継続計画の策定には至らなかった。	(1) 事業継続計画の概要についてパンフレット等を利用して説明した。
付随成果	基本的な新型インフルエンザ対策について理解を深めることができた。	

指標目標達成への貢献度	低 1 2 3 4 5 高
	貢献度リストボックス入力 3:普通

事業実施の結果評価	右の「評価の区別」を用いて判定入力	判定	継続			
		<table border="1" style="font-size: small;"> <tr><th>評価の区別</th></tr> <tr><td>1: 継続</td></tr> <tr><td>2: 見直し</td></tr> <tr><td>3: 廃止</td></tr> <tr><td>4: 完了</td></tr> </table>		評価の区別	1: 継続	2: 見直し
評価の区別						
1: 継続						
2: 見直し						
3: 廃止						
4: 完了						

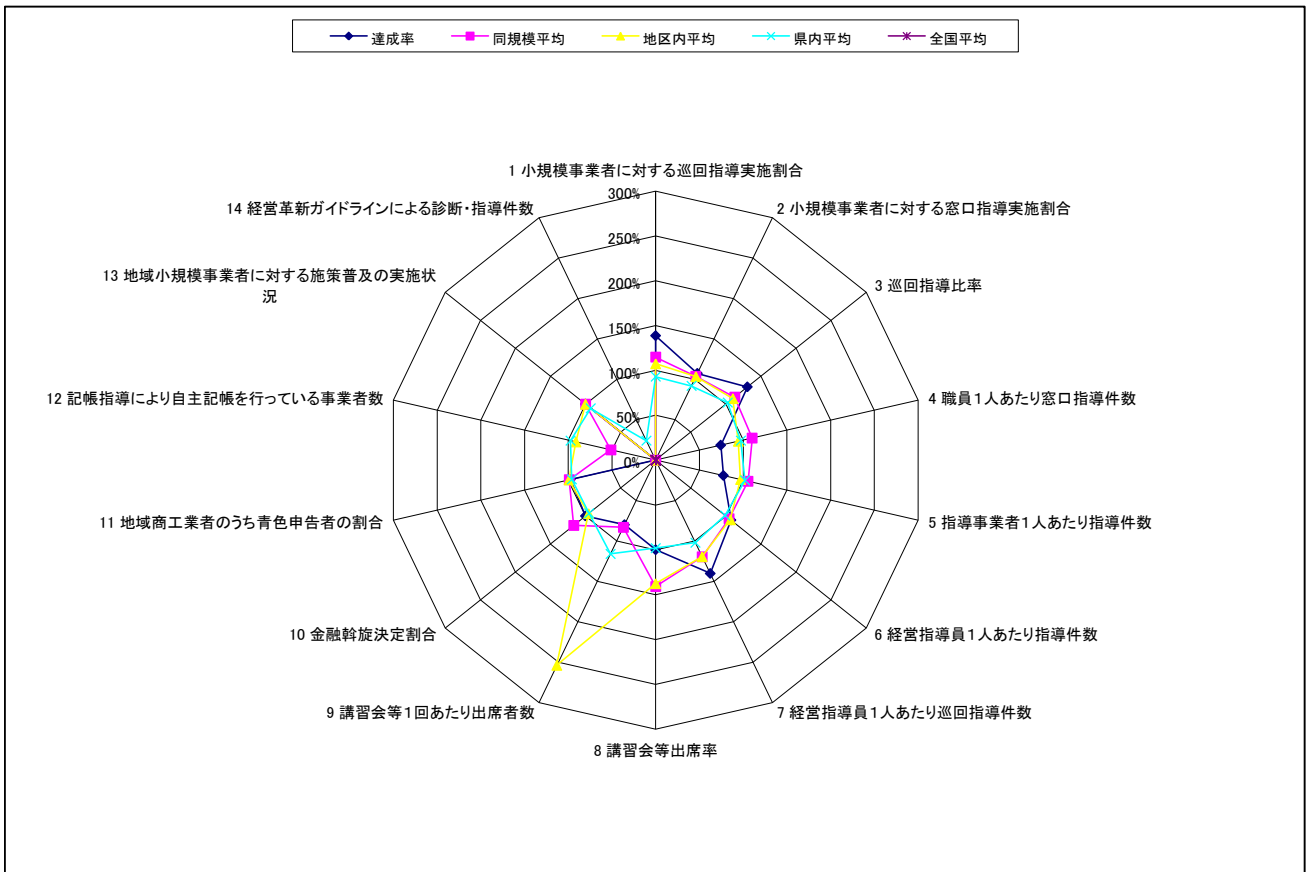
入力担当者（評価者）のコメント欄	
(1) 継続・見直しの今後の展開及び方向性 今後も継続して事業継続計画の策定の重要性について理解を深めていくことが必要であると考えます。	(2) 廃止・完了の今後の展開及び方向性

今後の事業実施により期待される成果	新型インフルエンザ対策としてだけではなく、企業として事業継続計画を策定することは、企業の危機管理対策の一助となる。
-------------------	---

事業区分 1 経営指導関連事業

3081 桐生市黒保根

事業区分	統一指標	達成率	同規模平均	地区内平均	県内平均	全国平均	予備項目
1	1 小規模事業者に対する巡回指導実施割合	139%	115%	107%	93%	0%	
	2 小規模事業者に対する窓口指導実施割合	107%	103%	103%	92%	0%	
	3 巡回指導比率	131%	113%	110%	103%	0%	
	4 職員1人あたり窓口指導件数	74%	110%	95%	97%	0%	
	5 指導事業者1人あたり指導件数	77%	106%	97%	102%	0%	
	6 経営指導員1人あたり指導件数	107%	105%	107%	99%	0%	
	7 経営指導員1人あたり巡回指導件数	140%	119%	119%	102%	0%	
	8 講習会等出席率	100%	141%	138%	98%	0%	
	9 講習会等1回あたり出席者数	80%	83%	254%	116%	0%	
	10 金融幹旋決定割合	100%	117%	96%	95%	0%	
	11 地域商工業者のうち青色申告者の割合	98%	99%	99%	96%	0%	
	12 記帳指導により自主記帳を行っている事業者数	0%	51%	91%	97%	0%	
	13 地域小規模事業者に対する施策普及の実施状況	100%	100%	100%	93%	0%	
	14 経営革新ガイドラインによる診断・指導件数	0%	0%	0%	24%	0%	
合計	平均	89.5%	97.3%	108.3%	93.4%	0.0%	



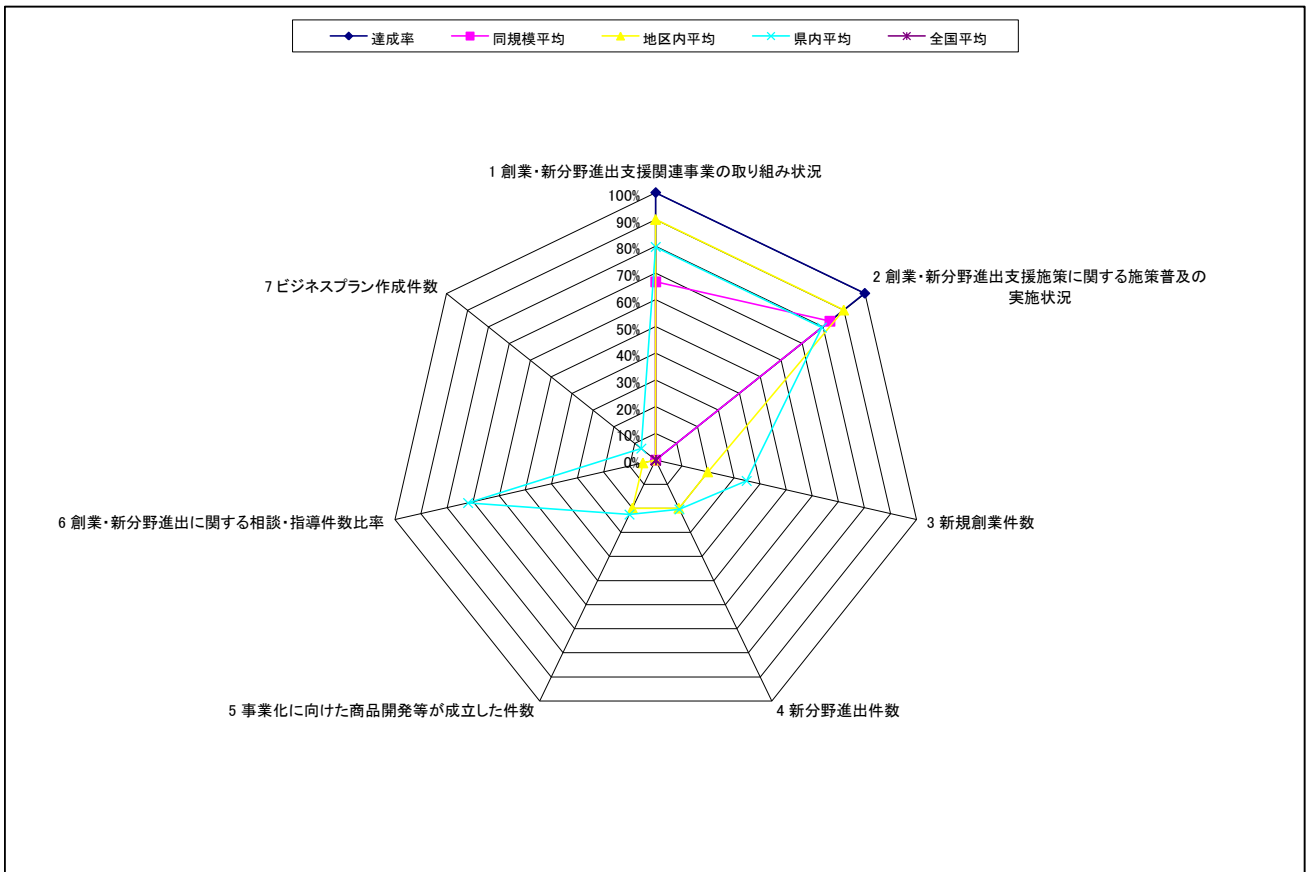
自己評価コメント欄

注目すべき実績または、今後の重点課題項をご記入ください

事業区分 2 創業・新分野進出支援関連事業

3081 桐生市黒保根

事業区分	統一指標	達成率	同規模平均	地区内平均	県内平均	全国平均	予備項目
2	1 創業・新分野進出支援関連事業の取り組み状況	100%	67%	90%	80%	0%	
	2 創業・新分野進出支援施策に関する施策普及の実施状況	100%	83%	90%	79%	0%	
	3 新規創業件数	0%	0%	20%	35%	0%	
	4 新分野進出件数	0%	0%	20%	20%	0%	
	5 事業化に向けた商品開発等が成立した件数	0%	0%	20%	23%	0%	
	6 創業・新分野進出に関する相談・指導件数比率	0%	0%	5%	72%	0%	
	7 ビジネスプラン作成件数	0%	0%	0%	7%	0%	
合計	平均	28.6%	21.4%	35.0%	45.1%	0.0%	



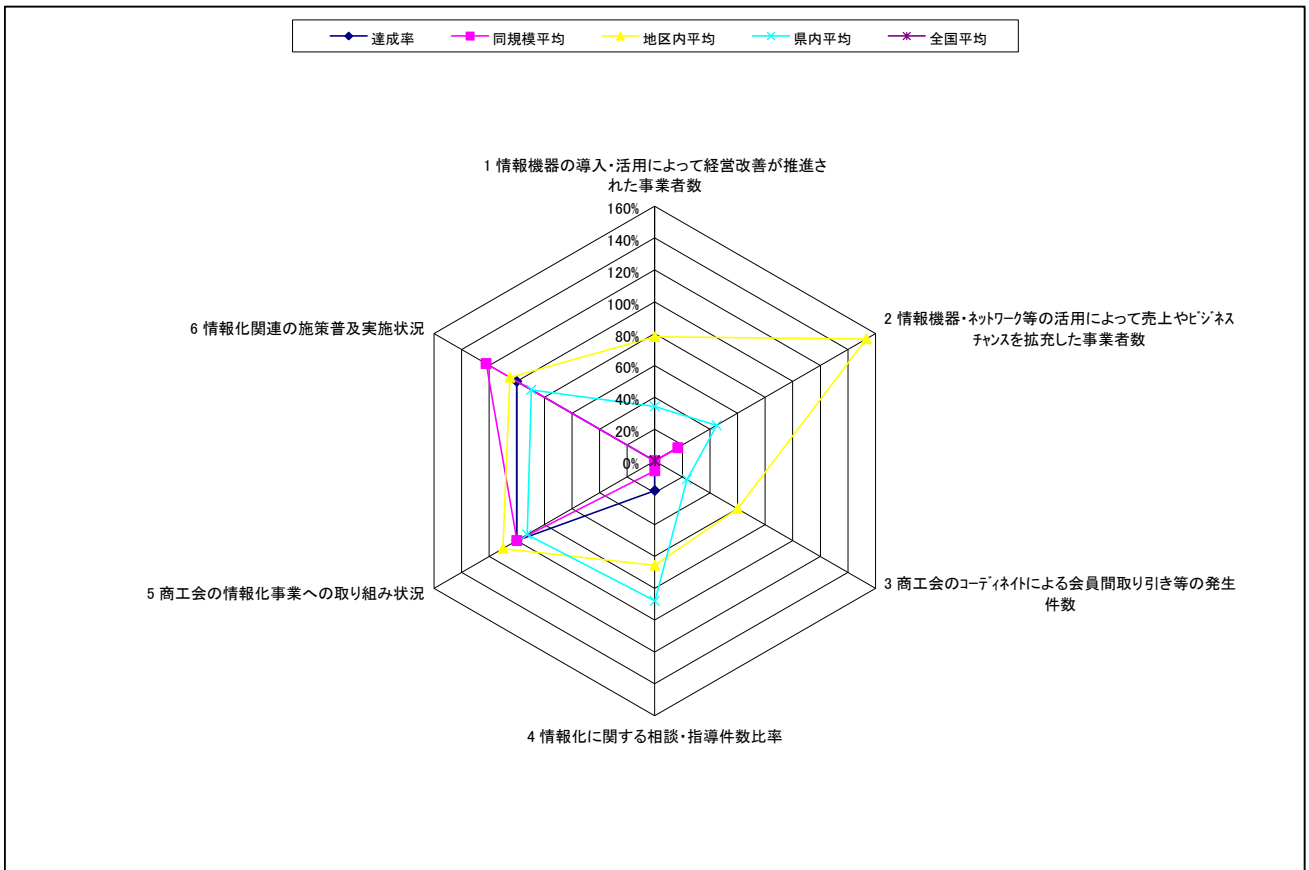
自己評価コメント欄

注目すべき実績または、今後の重点課題項をご記入ください

事業区分 3 情報化関連事業

3081 桐生市黒保根

事業区分	統一指標	達成率	同規模平均	地区内平均	県内平均	全国平均	予備項目
3	1 情報機器の導入・活用によって経営改善が推進された事業者数	0%	0%	78%	34%	0%	
	2 情報機器・ネットワーク等の活用によって売上やビジネスチャンスを拡充した事業者数	0%	17%	153%	45%	0%	
	3 商工会のコーディネートによる会員間取り引き等の発生件数	0%	0%	60%	23%	0%	
	4 情報化に関する相談・指導件数比率	19%	6%	66%	88%	0%	
	5 商工会の情報化事業への取り組み状況	100%	100%	110%	92%	0%	
	6 情報化関連の施策普及実施状況	100%	122%	105%	89%	0%	
合計	平均	36.4%	40.8%	95.3%	62.0%	0.0%	



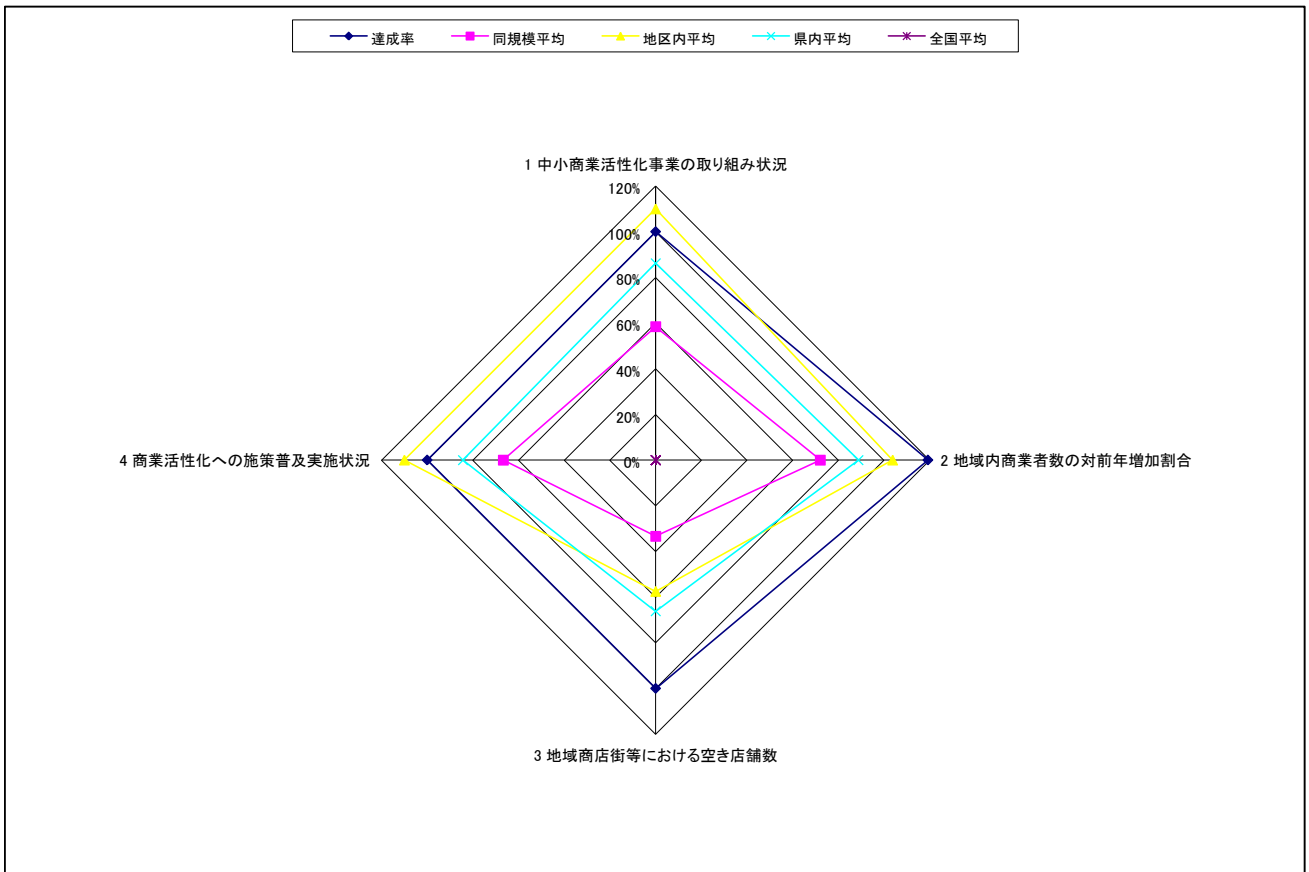
自己評価コメント欄

注目すべき実績または、今後の重点課題項をご記入ください

事業区分 4 中小商業活性化関連事業

3081 桐生市黒保根

事業区分	統一指標	達成率	同規模平均	地区内平均	県内平均	全国平均	予備項目
4	1 中小商業活性化事業の取り組み状況	100%	58%	110%	86%	0%	
	2 地域内事業者数の対前年増加割合	119%	72%	104%	89%	0%	
	3 地域商店街等における空き店舗数	100%	33%	58%	66%	0%	
	4 商業活性化への施策普及実施状況	100%	67%	110%	84%	0%	
合計	平均	104.8%	57.6%	95.3%	81.4%	0.0%	



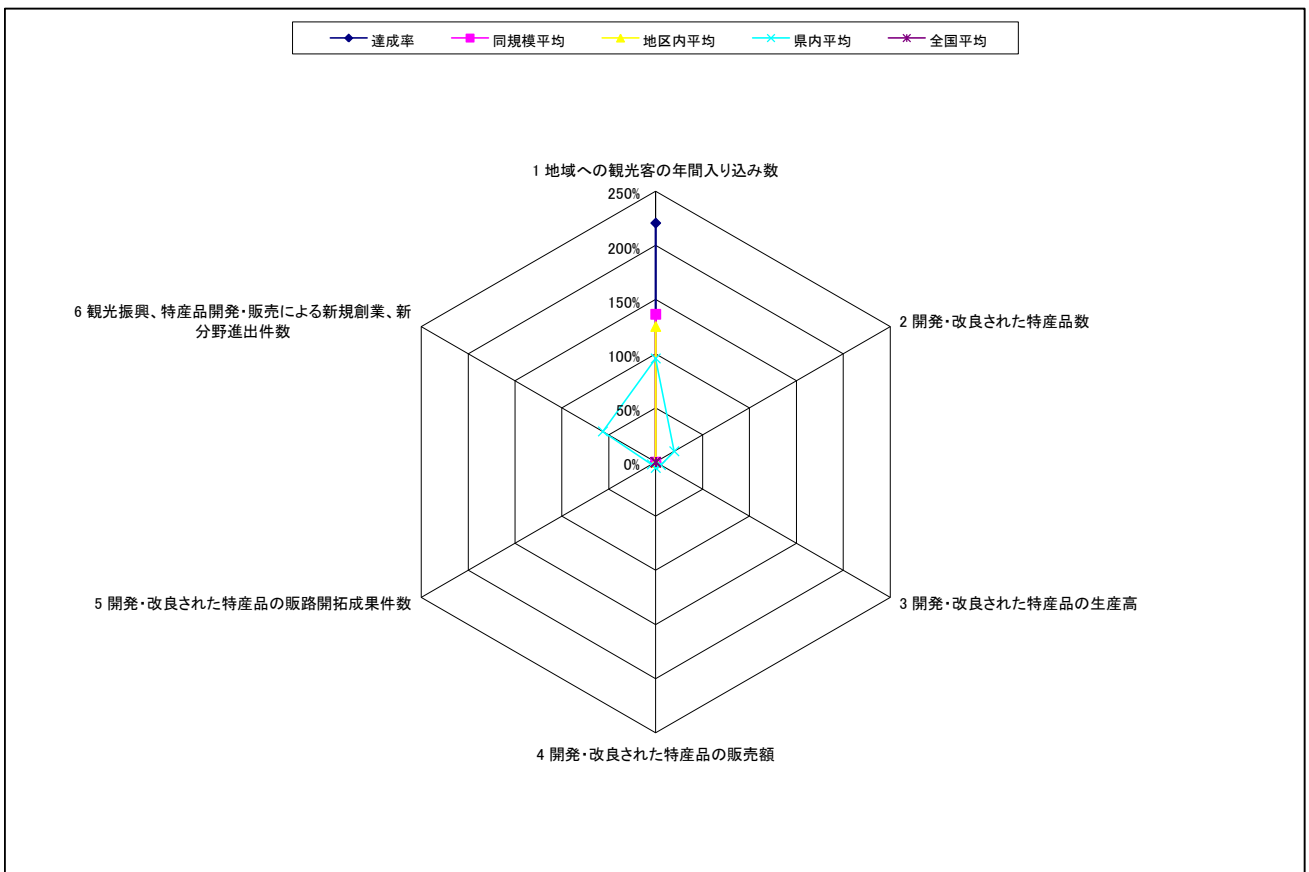
自己評価コメント欄

注目すべき実績または、今後の重点課題項をご記入ください

事業区分 5 特産品関連事業

3081 桐生市黒保根

事業区分	統一指標	達成率	同規模平均	地区内平均	県内平均	全国平均	予備項目
5	1 地域への観光客の年間入り込み数	221%	136%	125%	96%	0%	
	2 開発・改良された特産品数	0%	0%	0%	20%	0%	
	3 開発・改良された特産品の生産高	0%	0%	0%	5%	0%	
	4 開発・改良された特産品の販売額	0%	0%	0%	5%	0%	
	5 開発・改良された特産品の販路開拓成果件数	0%	0%	0%	4%	0%	
	6 観光振興、特産品開発・販売による新規創業、新分野進出件数	0%	0%	0%	56%	0%	
合計	平均	36.8%	22.7%	20.9%	31.1%	0.0%	



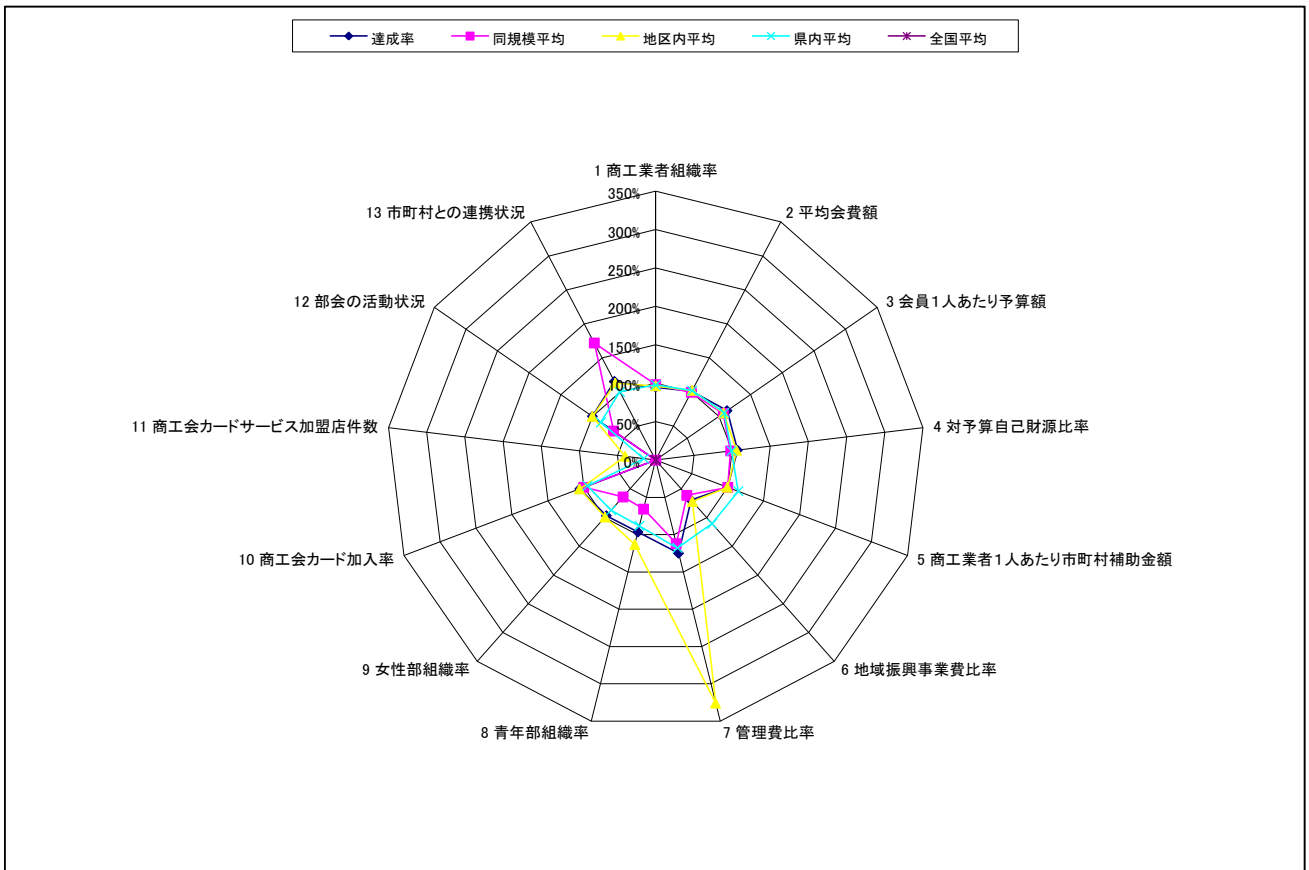
自己評価コメント欄

注目すべき実績または、今後の重点課題項をご記入ください

事業区分 8 組織基盤強化関連事業

3081 桐生市黒保根

事業区分	統一指標	達成率	同規模平均	地区内平均	県内平均	全国平均	予備項目
8	1 商工業者組織率	95%	98%	97%	98%	0%	
	2 平均会費額	102%	99%	102%	102%	0%	
	3 会員1人あたり予算額	113%	107%	107%	108%	0%	
	4 対予算自己財源比率	107%	98%	106%	99%	0%	
	5 商工業者1人あたり市町村補助金額	100%	100%	100%	115%	0%	
	6 地域振興事業費比率	69%	61%	72%	111%	0%	
	7 管理費比率	125%	112%	326%	118%	0%	
	8 青年部組織率	96%	65%	113%	88%	0%	
	9 女性部組織率	97%	64%	99%	87%	0%	
	10 商工会カード加入率	105%	100%	106%	95%	0%	
	11 商工会カードサービス加盟店件数	0%	0%	40%	16%	0%	
	12 部会の活動状況	100%	67%	100%	87%	0%	
	13 市町村との連携状況	115%	172%	113%	100%	0%	
合計	平均	94.2%	88.0%	113.9%	94.1%	0.0%	



自己評価コメント欄

注目すべき実績または、今後の重点課題項をご記入ください
